

大学院理工学府研究倫理審査委員会記録

日 時 令和5年11月1日（水）～令和5年11月20日（月）

場 所 Moodle 説明動画確認後に Google フォームで審査、メール会議で審議

出席者 弓仲委員長、花泉、浅野、渡邊、名越、米山、田中、茂木、川崎の各委員

教職員 Moodle に UP された研究計画の説明動画を各委員が視聴し、Google フォームに回答する形式で審査を行なった。

議事概要

I 審議事項

1 研究倫理審査について（審査案件 No.2023-002）

研究題目：「運転視線の明確化」

標記の研究題目について、Google フォームでの各委員の回答結果を取りまとめた結果、承認8件、条件付き承認1件であった。

付された条件及び委員から出された意見について、申請者へ伝達したところ、別紙のとおり申請書等の修正及び改善対応等を取るとの回答があった。

以上を踏まえ、再度確認を行なった結果、委員会の結論として本研究計画を承認し、審査結果通知書を添えて理工学府長へ報告することとした。

以 上

理工学府研究倫理審査委員会 委員からの質問、意見等取りまとめ

案件No.	002
研究題目	運転視線の明確化
委員数	9
回答委員数	9
回答率	100.0%

本研究に対する質問、コメント等	申請者からの回答 (1及び2は条件付き承認の条件となっておりますので必ず回答願います)
(被験者へのインフォームド・コンセントの手順、項目について、十分人権に配慮し適切に設定されているかという観点からの質問) 研究対象者に対して、参加の有無などで不利益にならない事が強調されているが、これ程に強調されると研究対象者が利害関係にある者ではないかと危惧される。研究対象者は、第三者に限られ、利害関係者を排除する考慮がなされているのか？	ご審査いただきまして、誠にありがとうございます。 研究対象者の収集については、研究者実施者が特定の個人に対して協力を依頼するようなことは行いません。また研究対象者については、掲示やメールの形式で募集します。集まった候補者に利害関係にあたりと判断される可能性のある者については、研究への参加をお断りするようにいたします。
(研究におけるリスクの認識、リスク低減に対する体制は十分に確保されているか、リスクに対する安全配慮は十分かという観点からの質問) 実車を使った計測において、担当研究者の同乗や低速走行のみと安全性を考えられているが、それでも事故等などが起こった場合に責任の所在はどこになっているのか？それが明記されていない。また、保険などに入る事はないのか？	責任の所在について、実験対象者に明らかな故意による過失があった場合を除いて、基本的には研究実施者が責任を負うこととしております。保険については、万が一のこともございますので、加入したうえで実験対象者には実車実験に参加していただくようにいたします。
実車での実験の安全性確保と、万が一の場合の自動車保険等の確認をお願いします。	ご審査いただきまして、誠にありがとうございます。安全性の確保については、同乗する実験実施者が注意を払い、低速走行を遵守します。保険については、万が一のこともございますので、加入したうえで実験対象者には実車実験に参加していただくようにいたします。
3D酔いに相当する事態になった場合の休息確保等、被験者の健康管理に十分配慮したシミュレータでの実験をお願いします。	ご審査いただきまして、誠にありがとうございます。休憩の時間を十分に確保し、継続が困難と、申告、判断された場合には実験を中断するようにいたします。
本実験の実施による各段の研究の進展を期待します。	ご審査いただきまして、誠にありがとうございます。実験対象者の安全に注意し、研究を推進いたします。

総合的な判断としての承認状況 (未回答者は承認に数える)		
承認	8 / 9	88.9%
条件付きで承認	1 / 9	11.1%
不承認	0 / 9	0.0%
全学（昭和地区）の倫理審査委員会に諮るべき	0 / 9	0.0%
外部有識者の意見を聞くべき	0 / 9	0.0%
継続審議とすべき	0 / 9	0.0%
その他	0 / 9	0.0%

条件付き承認を選択した委員からの提示条件（実験参加者への説明文と同意書の修正提案）	申請者からの回答
上記質問(1及び2)に適切に対応して頂く事を条件として付記する。	・質問1について、研究計画書の研究対象者の選定方針に、選定方法として以下の記載を追加いたします。 ”研究対象者の収集は、掲示やメールの形式で募集する。集まった候補者の中に利害関係にあたると判断される候補者や、判断される可能性のある候補者については、研究への参加をお断りする。” ・質問2について、説明文書と同意書に以下の記載を追加いたします。 （説明文書、5. この研究への参加により予想される利益と起こるかもしれない不利益） ”実写での運転をしていただく場合、低速での運転のみではありますが実車を運転して頂くため、事故が発生する可能性も完全に無くなりはいしない為、自動車保険等に加入した上で実車実験に参加していただきます。費用については研究者が負担または補填します。また、事故が発生した場合の責任については、故意による過失や研究者の指示に従わなかった場合などを除いては、研究者対象者の方が責任を問われることは無いと考えています。” （同意書）”実車運転時の事故の可能性と対応について”の項目を追加いたします。